

バイナリデータから数値の取り出条件を設定します。

バイナリ・パケットデータの「パケット選択フィルタ」と、抽出する数値の位置とタイプを指定します。

例えば、以下のようなバイナリデータの場合、下図に示すように設定します。

#### バイナリデータ

Loc=0	1	2	3	4	8	12
0x01	—	—	—	x0 (INT-32)	x1 (INT-32)	x2 (INT-32)

#### ダイアログの設定

抽出条件名 AAA 削除 ヘルプ

パケット選択フィルタ

位置	タイプ	1位
0x0	Hex8	0x1

数値の抽出

位置	タイプ
X0	0x8 Int32
X1	0xC Int32
X2	0x10 Int32
X3	0x0 *****
X4	0x0 *****
X5	0x0 *****
X6	0x0 *****
X7	0x0 *****

リセット

演算式 N/2

係数 0.001 ☐ ビッグエンディアン 保存 OK キャンセル

ロケーション 0 が、0x01 (8 ビット整数)であるバイナリ・パケットデータを対象とします

各々、ロケーション 4, 8, 12 の位置の符号付 32 ビット整数を指定します

有効な数値が設定されている場合のインジケータです。この円の色は、グラフィック上での描画色となります。

抽出した数値を「N」として、計算式を指定できます。

「リセット」ボタンを押すと、全ての数値選択設定がクリアされます。

数値がビッグエンディアン形式である場合にチェックします。

「係数」はグラフ表示時、抽出したすべての数値に乗算する値です

設定が完了したら「OK」ボタンで上書きするか、「保存」ボタンで名前を付けて保存を行ってください。

上記の設定例では、受信したバイナリ・パケット・データ行から3つ数値が抽出されて、以下のようなタイムチャート（波形）グラフが表示されます。

